

伊都祭2011を開催

平成23年11月13日(日)、伊都キャンパスセンターゾーンにて「伊都祭2011」が開催されました。伊都祭とは、九州大学と地域(福岡市西区西部6校区(周船寺・玄洋・今宿・今津・元岡・北崎)及び糸島市)が一体となり、九州大学伊都キャンパスと、それを支える地域の魅力を発信するお祭りです。昨年より、「伊都祭は春の祭り」として5月に開催していましたが、東日本大震災の発生により、今年は11月の開催となりました。



5回目を迎える今回は、いざというときには、地域と大学が団結しようという思いも込められた「地域力+大学力=防災力」をテーマの1つとして、ゲームや、デモ操作を通じて消火器やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学べるイベントも開催されました。

ほかにも、学生・地域が主体となった研究展示や、子供向けの体験教室などのさまざまな企画、地域と大学の特色を生かした約40の露店、13の団体が日頃の練習の成果を披露するステージ企画等もあり、学生、地域の皆様合わせて約8000人が訪れ、天候に恵まれた伊都キャンパスは大いに賑わいました。

次回の伊都祭は、

平成24年5月13日

(日)、伊都キャンパスにて「九大100

年まつり」と同時開催の予定です。



ホームカミングデー2011を開催

平成23年11月19日(土)、箱崎キャンパスを会場に、今年で6回目となる「九州大学ホームカミングデー2011」が開催され、雨天にもかかわらず数多くの卒業生らが訪れました。

創立100周年にあたる本年のホームカミングデーでは、多くのイベントが行われました。創立50周年記念講堂の2階では、九大フィルハーモニー・オーケストラによるミニコンサートが行われ、1階の生協食堂では、歓迎式と懇親会が開催されました。懇親会では、有川節夫総長が歓迎の挨拶を述べ、参加者を代表して、福岡同窓会会長の芦塚日出美様乾杯のご発声を行っていた。その後、多くの卒業生が懐かしの生協メニューを楽しみながらご家族や旧友と歓談のひと時を過ごされました。



また、中央図書館や総合研究博物館で、貴重な書物や資料の展示公開が行われたほか、旧工学部本館の1階では、写真で見る「九大百年」展が開催され、創設期から近年の写真まで、100年の歴史を記録した数々の貴重な写真が展示されました。写真展会場には、先に閉校した六本松キャンパスとその周辺を再現した模型も展示され、多くの卒業生が、当時は懐かしんでおられました。

午後からの伊都キャンパス案内には、卒業生、一般市民など約90名の方々が参加し、バスに乗り込んで、整備が進む伊都キャンパスを訪れました。伊都キャンパスでは、学生による九大祭も開催されており、施設の見学とともに、現役学生との交流も行われました。